

# データを活用した意思決定の成熟度評価シート

## 成熟度評価と課題把握

貴行・貴社が保有する情報資産を活用し、恒常的に経営基盤や顧客満足を維持・改善するには、①意思決定、②データ分析、③データマネジメントの3つの観点から包括的に態勢を整備することが重要です。

以下の簡易的な成熟度評価は、データ利活用の高度化に向け重点的に強化すべき領域を特定し、必要な対策を把握することを目的としています。

## 成熟度評価項目と評価基準

成熟度評価は、11個の質問事項に対して、次の3段階で評価します。

- 評価点 1: 実施していない、または一部の部署では実施している
- 評価点 2: 全社的に実施し、ルールやプロセスが明確になっている
- 評価点 3: 経営層も関与した全社的なPDCAサイクルが整備され、継続的な改善活動を実施している

領域	#	質問事項	評価点
経営 適時・適切な意思決定ができていますか	1	タイムリーに報告が上がってきているか (スムーズに意思決定するため、タイムリーに報告を受けているか)	1 2 3
	2	緊急時などアドホックな分析がタイムリーに実行できているか (ストレス時でも迅速に分析を行い、初動対応が行える態勢が整備されているか)	1 2 3
	3	適切な指標(KPI)に基づいた状況把握が行われているか (経営計画や事業計画に合わせ、適切な指標(KPI)が定義され、適宜見直しを行っているか)	1 2 3
	4	報告・レポートの内容が理解しやすく、適切に判断できているか (報告・レポートが標準化され、読み手が直観的に判断できるレイアウトになっているか。担当者の補足説明が無くても、レポートの内容だけで必要な情報が取得・理解できるか)	1 2 3
企画 意思決定に有用な分析・報告ができていますか	5	多様なデータを活用し、分析・報告できているか (取引や残高データなど業務系データだけでなく、お客さまのWebやATMの操作ログ、SNSや掲示板などのテキストデータなど新たなデータを活用できているか)	1 2 3
	6	データ分析のプロセスが標準化されているか (定型レポートだけでなく、非定型(アドホック)レポートも含め、分析・報告のプロセスが定義されているか。分析・報告業務が、属人的な運用となっていないか)	1 2 3
	7	分析スキルのある人材が育成され、またノウハウが蓄積されているか (データ分析人材に対する育成プログラムや評価項目が整備されているか。ジョブローテーションなど、データ分析のノウハウを共有や移転する仕組みが整備されているか)	1 2 3
IT 分析・報告に有用なデータを提供できていますか	8	システム全体のデータ配置・フローが最適化されているか (データが集約されておらず、複数のシステムに類似データが散在していないか。その場合、どれが適切なデータか明確になっているか)	1 2 3
	9	表記方法や粒度が揃っているなど、データが標準化されているか (分析・報告に使用するデータに対して、欠損データや重複データが含まれていないか。データ区分が適切に定義されておらず、データが「その他」や「特定の値」に集中していないか)	1 2 3
	10	データに着意した、システム設計・開発が行われているか (システムを横断した統一的なコード体系やデータの命名規則が整備されているか。各システムのデータを共有する仕組みとして、データ辞書が整備されているか)	1 2 3
共通	11	データに関する役割・責任が明確化されているか (データを維持・管理するため、業務部門(データオーナー)、CDO・DMO、監査部門などの役割・責任が明確になっているか)	1 2 3

評価結果(各領域の合計点を記載します)

経営	点	企画	点	IT・共通*	点
----	---	----	---	--------	---

※ ITと共通の合計値を基に評価します

## 成熟度評価と、解決に向けた対策

成熟度評価の結果は、貴行・貴社が強化すべき領域や必要な対策を判断するための基準となります。情報資産を活用し、恒常的に経営基盤や顧客満足を維持・改善するには、包括的に態勢を整備することが必要です。このため、相対的に評価が低い領域は改善の余地が大きく、対策を打つことが重要です。また、経営や企画など個別領域において著しく評価が低い項目がある場合は、重点的に対策を行うことも有効です。

### 各領域の評価結果と必要な対策

	評価結果(合計点)	必要な対策
経営	<p>8点以下</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改善余地があるレベル</li> </ul> <p>9～10点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総じて全社的に実施できているレベル</li> </ul> <p>11～12点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全社的にPDCAサイクルが整備され、継続的な改善活動が実施できているレベル</li> </ul>	<p><b>意思決定の態勢整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経営層が全社的な意思決定のため、内部・外部の事業環境変化を迅速かつ容易に把握する</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>意思決定サイクルの短縮化                     <ul style="list-style-type: none"> <li>速報ベースの報告を基に経営自ら情報収集し、仮説立案</li> <li>企画部門は、アドホックに仮説検証を実施し、意思決定を支援</li> </ul> </li> <li>適切な意思決定を促す指標の設定                     <ul style="list-style-type: none"> <li>実績を把握する指標(KPI)と将来を予測する指標(EWI)</li> </ul> </li> <li>経営ダッシュボード導入                     <ul style="list-style-type: none"> <li>直感的に理解しやすい分析・報告結果の自動作成</li> </ul> </li> </ol>
	<p>6点以下</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改善余地があるレベル</li> </ul> <p>7～8点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総じて全社的に実施できているレベル</li> </ul> <p>9点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全社的にPDCAサイクルが整備され、継続的な改善活動が実施できているレベル</li> </ul>	<p><b>データ分析の態勢整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意思決定を支援するため、ビジネス活動で生じる様々なデータを加工・集計し、現状把握や将来予想を行う</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>新たなデータの取り込み                     <ul style="list-style-type: none"> <li>従来のデータの他、SNSのテキストデータや通話記録の音声データなど新たな種類のデータの活用</li> </ul> </li> <li>経営・業務プロセスへの組み入れ                     <ul style="list-style-type: none"> <li>データ収集・加工～分析のプロセスを全社横断的に標準化</li> </ul> </li> <li>データ分析組織の設置                     <ul style="list-style-type: none"> <li>専門組織を配置するか、各組織に分散配置するか</li> </ul> </li> </ol>
IT・共通	<p>8点以下</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改善余地があるレベル</li> </ul> <p>9～10点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総じて全社的に実施できているレベル</li> </ul> <p>11～12点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全社的にPDCAサイクルが整備され、継続的な改善活動が実施できているレベル</li> </ul>	<p><b>データマネジメントの態勢整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>データを「経営戦略を決定する上での重要な資産」と捉え、意思決定のために常時利用可能な状態に維持・改善する</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>データアーキテクチャ最適化                     <ul style="list-style-type: none"> <li>全社標準的なマスターデータ管理、データ品質管理の導入</li> <li>全社システムを俯瞰したデータ配置・フローの最適化</li> </ul> </li> <li>開発統制                     <ul style="list-style-type: none"> <li>設計・開発指針やルールの設定</li> </ul> </li> <li>CDO・DMOの役割・責任の明確化                     <ul style="list-style-type: none"> <li>CDO・DMOの役割設置と機能の明確化</li> </ul> </li> </ol>

※ 必要な対策にある番号は、成熟度評価の質問番号に対応。  
個別の質問事項で評価が著しく低い場合、個別対策を実施することも一考